

# 平成23年度病害虫発生予察注意報第5号

平成23年10月5日  
愛知県

作物名：ダイズ

病害虫名：吸実性カメムシ類（主にミナミアオカメムシ）

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発令の根拠
  - (1) 9月下旬の巡回調査の結果、ダイズにおける吸実性カメムシ類（ミナミアオカメムシやホソヘリカメムシなど）の100株あたり寄生虫数は32.8頭（平年3.0頭）となり、過去10年で最も多かった。
  - (2) 9月30日発表の1か月予報では、10月8日以降、気温が高い確率が40～50%と予想されており、今後の発生に好適な条件が続くと思われる。
- 4 防除上注意すべき事項
  - (1) 水稻に寄生していたカメムシが、水稻収穫後に隣接したダイズほ場へ飛来することが予想されるので、ほ場を丁寧に見回り、吸実性カメムシ類を確認したら、下表を参考に農薬による防除を実施する。その後も発生が多い場合は、7～10日後に再度防除を実施する。
  - (2) 幼莢期から子実肥大期に加害されると被害が大きいため、この時期に防除の重点をおく。
  - (3) 吸実性カメムシ類は移動性が高いため、広域一斉防除の効果が高い。
  - (4) 農薬の散布に当たっては、他の農作物や人畜に害を及ぼさないよう飛散防止に努める。
  - (5) 農薬はラベルの表示事項を守り使用する。

表 カメムシ類に対する主な防除薬剤

| 薬剤名                  | 希釈倍数（倍）     | 収穫前日数  | 使用回数 |
|----------------------|-------------|--------|------|
| スミチオン乳剤              | 1,000       | 21日前まで | 4回以内 |
| ダントツ水溶剤              | 2,000～4,000 | 7日前まで  | 3回以内 |
| キラップフロアブル            | 2,000       | 7日前まで  | 2回以内 |
| スタークル／アルバリン<br>顆粒水溶剤 | 2,000       | 7日前まで  | 2回以内 |

- 5 その他
  - (1) ミナミアオカメムシは32科145種の植物に寄生・加害することが知られており、愛知県では、水稻、コムギ、トマト、オクラ、キャベツ、ナス科雑草（イヌホオズキなど）、マメ科雑草（クサネムなど）などで寄生を確認している。
  - (2) ミナミアオカメムシの生態などについては、「知ってとくとくミナミアオカメムシの生態と防除」（ホームページアドレス<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/2009/shiryou/minamiaio091.pdf>）を参照してください。
- 6 連絡先  
愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除グループ  
電話：0561-62-0085（内線471）